

ID	
氏名	
生年月日	
年齢	性別
科名	病棟

FOLFIRI+Ramucirumab療法			
ポート			
2週毎			
疾患名	大腸癌		
T	N	M	Stage

主治医

指導医

(身長 cm・体重 kg) 体表面積 m²

スケジュール HBs抗原 (+ -) HBe抗体 (+ -) HCV抗体 (+ -)

《注射》		Day1	Day2	Day14
サイラムザ(ラムシルマブ)	8mg/kg	↓		
イリノテカン	150mg/m ²	↓		
レボホリナート	200mg/m ²	↓		
フルオロウラシル ワンショット	400mg/m ²	↓		
フルオロウラシル 持続	2400mg/m ² /46hr	↓	… →	

イリノテカン

- ・投与前に腹痛、下痢の有無を確認する。早発性(投与中～投与直後)、遅発性(投与24hr以降)の下痢が頻発する。
- ・必要時、投与前日から半夏瀉心湯を開始する。

サイラムザ

- ・投与前に血圧を測定する。収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100 を超える場合は主治医に確認する。
- ・出血傾向、血栓有無を確認する。
- ・0.22 μ m以下のインラインフィルターを使用すること。

Day1

				投与ルート
①	アプレピタントカプセル125mg1C	内服	イリノテカン投与 1時間前	
②	レスタミン10mg5錠	内服	サイラムザ投与 30分前	
③	生食100ml	DIV	血管確保(20ml/h)	メイン
④	パロノセトロン0.75mg/50ml 1V デキサート1.65mg 3A	DIV	30分	側管
⑤	サイラムザ()mg 生食250ml	DIV	60分	側管
⑥	イリノテカン()mg 5%ブドウ糖液250ml	DIV	120分	側管
⑦	レボホリナート()mg 5%ブドウ糖液250ml	DIV		側管
⑧	フルオロウラシル()mg 生食50ml	DIV	15分	側管
⑨	フルオロウラシル()mg フルオロウラシルと合わせて生食を全量100ml	DIV	シュアーフェューザーポンプ 46時間	側管

同時滴下

Day2.3 ★処方確認 17時まで病棟に薬があがっているか確認 申し送りへ記載